

予算計上の考え方

	令和4年度	令和5年度
1月臨時議会 (R5.1月補正)	▼1月	<p>早急に対応する必要があるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰対策 ・防災・減災、国土強靱の推進など（国第2次補正予算関連事業）
2月議会 R5.2月補正	▼2月	<p>取組みの拡充</p>
2月議会 R5当初	▼4月	<p>令和5年度取組み（骨格予算）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急性を要する安全対策に係る事業 ・年度当初より実施しなければ市民生活に支障がある事業 ・国・県・関係団体等との連携した実施が必要な事業 など
6月議会 R5.6月補正		<p>▼6月</p> <p>〃 （肉付補正）</p>

15カ月予算での対応

支払方法の多様化に向けた取組み<DXの推進>

納付書のキャッシュレス決済等推進事業費

3,139万8千円

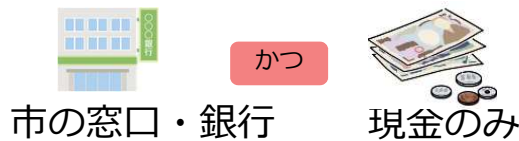
市が発行する納付書のキャッシュレス決済・コンビニ納付

現 状	 税などの主な納付書は 対応済み（約10種類）	市税や国民健康保険税 市営住宅家賃 水道料金・下水道使用料など
	 一方 その他の納付書は 未対応（290種類以上）	学校給食費、し尿処理手数料 各種使用料、手数料など

キャッシュレス決済
令和4年度納付実績
(4~12月まで)

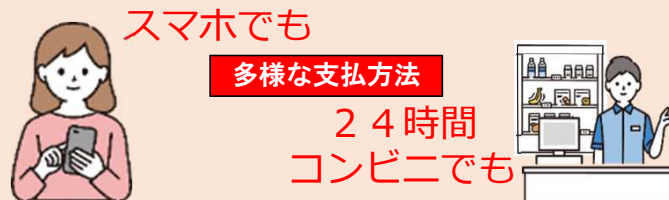
約9億円

支払は、市や銀行の
窓口で現金納付のみ



仕事で払いに行けない…
近くに銀行や市の窓口
がない…

原則全ての
納付書 キャッシュレス決済
・コンビニ納付を可能に



いつでも・どこでも
様々な方法で納付可能に

払いやすくなった

【事業概要】

- ・キャッシュレス決済やコンビニ納付が可能なバーコード付納付書に対応するため、財務会計システムなど、関連システムの改修等を実施
- ・収納事務受託者と契約し、コンビニエンスストア等での公金収納を実施

開始時期：R6.4月本格運用

支払方法の多様化に向けた取組み<DXの推進>

Web口座振替受付サービス導入費

196万5千円

一般会計：40万8千円
企業会計：155万7千円

市税や水道料金等の口座振替申込みが、
パソコンやスマートフォンから簡単にできます

対象税目・
料金

市税や国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料、
保育料

上下水道料金、公共下水道受益者負担金・分担金など

口座の届出印
どれだっけ・・・



口座振替にしたいけ
ど、窓口に行く時間
がない・・・



自宅で好きな時間に
申込みできるから
便利・・・

ゼロカーボンシティ長崎の実現に向けた取り組み

令和5年度当初予算での主な取り組み

総額 4億8,769万円

【削減戦略1】 まち歩きを楽しめる脱炭素な都市の形成

- ・ 公用電気自動車（軽）5台導入: 1,510万円

【削減戦略2】 環境にやさしいエネルギーの活用と環境関連産業の活性化

- ・ 新市庁舎のゼロカーボン化（電力、都市ガス）：138万円
- ・ 再生可能エネルギー活用推進費：1,924万円
 - エネルギー版産学官民連携スタートアップ事業
 - 脱炭素先行地域アドバイザー業務

【削減戦略3】 ごみ減量化等に積極的な省資源・循環型のまち

- ・ 給水スポットの設置（長崎ペンギン水族館、体験の森）：240万円
- ・ 使用済ペットボトルの繰り返し再生（ボトルtoボトル）：77万円

【削減戦略4】 日常生活や事業活動の脱炭素化への転換

- ・ 市民環境活動応援費：100万円
- ・ 省エネ住宅等の周知啓発業務：167万円
- ・ 環境問題に積極的な中小企業への融資制度：7,840万円
- ・ 公共施設等のLED化：2億5,474万1千円
 - 三和公民館 ○三和少年交流センター○琴海文化センター
 - 北総合事務所・琴海地域センター、琴海南部体育館、琴海南部文化センター
 - 長崎東公園コミュニティプール ○植木センター ○東長崎浄水場他1施設 ○生活道路街路灯



Zero
Carbon
Action
Nagasaki

【二酸化炭素の吸収・利活用】

- ・ 水産資源再生事業費 人工藻場礁(リーフボール)の状況調査業務：115万円

ゼロカーボンシティ長崎の実現に向けた取り組み

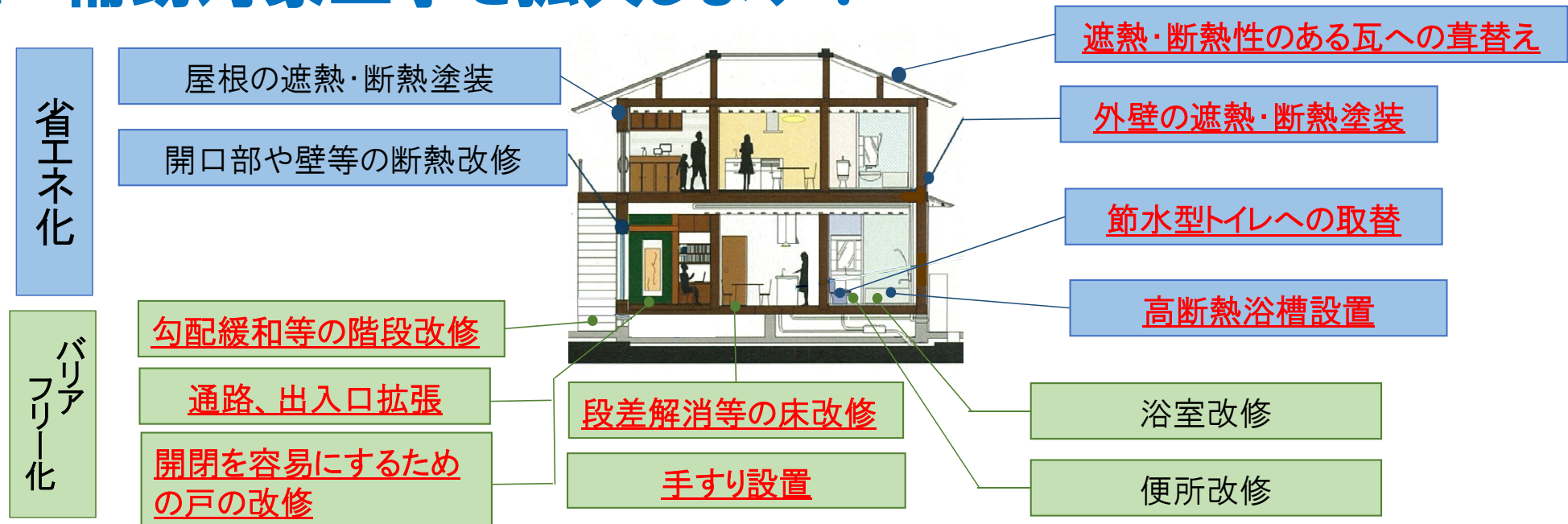
住宅性能向上リフォーム補助金

8,980万円

(うち、拡大部分2,930万円)

既存住宅の遮熱・断熱工事などの省エネ化に資する改修費用や浴室・便所等のバリアフリー化に資する改修費用の一部を助成します

1 補助対象工事を拡大します！ ※下線(赤字)が追加する補助対象工事



2 省エネ化の補助金の上限額をUPします！

区分	補助率	補助上限額
省エネ化	1/5	10万円⇒20万円
バリアフリー化	1/5	10万円

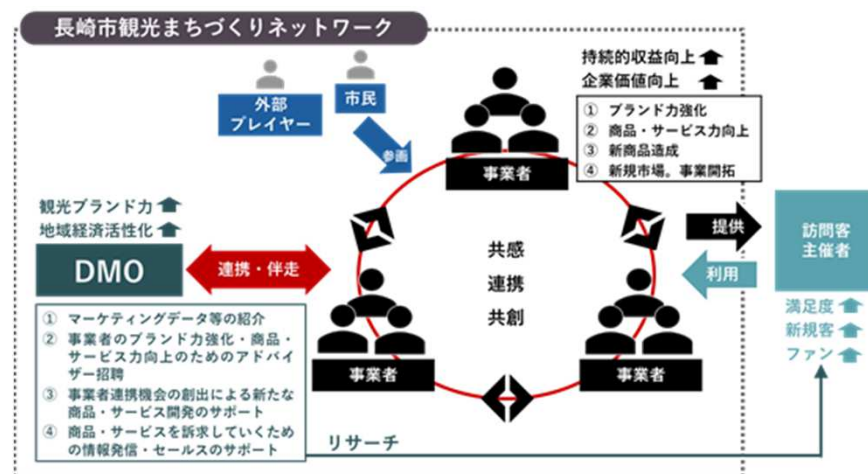
観光地域づくり推進費

2億9,392万6千円

DMOにおいて、多様な関係者と連携しながら、地域資源を活かした魅力づくりを行うとともに、各種データの継続的な収集・分析に基づく戦略の策定と検証を行うことで戦略的に観光客やMICEの誘致・受入を推進し、地域経済の活性化につなげます

【主な事業】

- 観光マスターブランドの浸透・認知拡大
- 長崎市観光まちづくりネットワークの活性化
- 消費拡大に向けたクチコミ強化



【債務負担行為の設定】 観光誘客プロモーション等委託 3億731万6千円

DMOの具体的な行動計画である「長崎市DMO事業計画」及び各年度において実施する事業を示した「DMO実施計画」に基づき、安定した事業の実施ができるよう、令和6年度から令和7年度までの事業費について債務負担行為を設定します



シーボルト来日200周年記念事業

総額 3,296万3千円



令和5年は、シーボルトの来日200周年にあたることから、記念事業をはじめ関連する事業を実施します

シーボルト来日200周年記念事業費 2,016万3千円

日本の近代化に貢献したシーボルトの功績を広く周知するとともに、シーボルトが紹介した長崎の魅力をアピールし、交流人口の拡大を目指すため、広く産官学の連携を図りながら、記念事業を開催します。

【主な事業】

- ・記念式典
- ・記念シンポジウム
- ・展覧会
- ・鳴滝塾模型の展示
- ・広報プロモーション



長崎歴史文化博物館特別企画展負担金 330万円

シーボルトの来日をもたらしたものと長崎が日本各地や世界に果たした役割を紹介する特別企画展「シーボルト来日200周年記念展(仮称)」を長崎歴史文化博物館において開催します。

【単独】観光施設整備事業費 旗竿再現(出島) 950万円

往時の出島においてオランダ国旗が翻っていた様子を再現し、和蘭商館として担った国際的な位置づけを顕在化することで、出島の魅力向上を図ります。

交流人口の拡大・まちなかのにぎわい創出、歴史文化への意識向上

出島の第Ⅳ期建造物復元整備に向けた取組み

建造物復元基本設計費

493万9千円

第Ⅳ期建造物復元整備

580万円

出島の南側において、出島町人部屋の復元をはじめとした整備をするため、基本設計及び発掘調査に取り組めます

【出島町人部屋(模型)】



【発掘調査】



宿泊税の導入

1 令和5年度宿泊税の見込み

- ・ 令和5年4月1日から導入
- ・ 令和5年度は宿泊者数221.8万人、 税収3.7億円を見込んでいます

宿泊料金	税額 (円)	R5宿泊者数 (万人)	R5予算額 (千円)
1万円未満	100	101.4	101,445
1万円以上2万円未満	200	110.3	220,512
2万円以上	500	10.1	50,380
合計	-	221.8	372,337

※令和5年度は、令和5年4月～令和6年2月宿泊分の11か月間が課税対象期間

宿泊税の活用

1 活用事業

- ・ 宿泊税は、「訪問客への還元」を方針とし、「利便性」「満足度」「再訪意欲」の向上につながる事業に活用します
- ・ 用途の分類である「5つの柱」（宿泊税賦課費を除く）に基づき、①→⑤の順位で活用します

① サービス向上・消費拡大

サービス向上により、訪問客の滞在時間や消費機会が拡大することで満足度の向上につながる事業として、主に長崎ならではの朝型・夜型の体験コンテンツの充実に取り組む

② 情報提供

ICTなどを活用し、訪問客が求める情報を適時提供し満足度の向上に繋げる事業として、主にワンストップの情報提供に取り組む

③ 受入環境整備

施設等の受入環境を整え、訪問客の利便性や満足度の向上に繋がる事業として、「観光案内所運営」や「無線LAN」などの整備に取り組む

④ 資源磨き

資源の磨き上げや施設の利活用により、訪問客の満足度を向上させる事業として、主に観光施設のライトアップ整備やユニークベニューの利活用支援事業に取り組む

⑤ 緊急時の対応等

基金を積み立て、その基金を国内外の人々の交流を促進し、観光需要の回復及び喚起を図るための事業（観光キャンペーン等）に充当

● 宿泊税賦課費

宿泊税周知に係る広告費や賦課システム等に要する費用。

2 宿泊税を活用する事業

3億7,233万7千円

① サービス向上・消費拡大 (事業費 94,146千円)

○観光地域づくり推進費	45,950 (46,855)
・サステナブルツーリズムの提供	13,618
・体験商品・長崎グルメ情報の提供	22,045
・店舗情報の充実 (Google Business Profileの活用)	10,287
○長崎さるく推進費	2,348 (37,095)
・長崎さるくの情報発信、ガイド研修	
○ナイトタイムエコノミー推進費	5,097 (10,196)

③ 受入環境整備 (事業費 136,123千円)

○観光地域づくり推進費	32,601 (68,074)
・市民及び市内事業者のおもてなし機運醸成	29,126
・MICE向けコンテンツの充実	3,475
○世界遺産保存整備事業費 「明治日本の産業革命遺産」	1,850 (35,500)
・グラバー園 旧三菱第2ドックハウス (世界遺産ガイダンス施設) デジタル映像導入等による展示リニューアル	
○総合観光案内所運営費	9,742 (32,549)

② 情報提供 (事業費 203,924千円)

○観光地域づくり推進費	139,078 (178,997)
・観光ワンストップサイトにおける情報提供	30,391
・デジタル広告等による訴求プロモーション	108,687
○シーボルト来日200周年記念事業費	2,055 (20,163)
・記念事業における広報プロモーション	
○世界・日本新三大夜景推進費	500 (4,764)
・日本新三大夜景情報発信	

⑤ 緊急時の対応等 111,312千円

○観光交流基金積立金	111,312
------------	---------

● 宿泊税賦課費 (事業費 21,816千円)

○宿泊税周知に係る広告費や賦課システム等	
----------------------	--

子育て支援

【補助】児童福祉等施設整備事業費

子育て支援センター

5,000万円

子育て中の保護者の孤立感や負担感の軽減を図るため、地域の身近な場所で子育てに関する相談や交流などができる場として設置している子育て支援センターについて、新たに「丸尾・西泊・福田区域」に設置します

今回の設置によって、子ども・子育て支援事業計画で市内16区域に設置する目標を掲げているすべての区域への設置が完了します

【設置場所】

長崎市みなと坂2丁目9番205（市有地）

【構造・延床面積】

木造平家建 105.00㎡（敷地面積：616.69㎡）

【設備】

交流スペース、授乳室、沐浴室、相談室、多目的トイレ・子ども用トイレ、事務室

【開設時期】 令和6年3月予定



（イメージパース）



子育て支援

子育て支援センター運営費

1億423万5千円

(うち、拡大分 1,631万5千円)

- 子ども・子育て支援事業計画で市内16区域に設置する目標を掲げている「子育て支援センター」について、最後の未設置区域である「丸尾・西泊・福田区域」に、新たに開設するための運営費を増額します
- 子育て支援センターの運営団体が利用者に応じて充実した人員体制を整えられるようにするなど、施設に応じた運営ができるように補助金を見直します
- 発達障害支援特化型の子育て支援センターについて、子どもの発達に悩みを抱える利用者の増加や利用に関するニーズの高まりなどを踏まえ、開設日時を拡大するなど運営体制の充実を行うことで、更なる利用者の悩みに寄りそった支援により、子どもを育てる保護者の不安や負担を軽減し、安心して子育てができる環境の充実を図ります

【丸尾・西泊・福田区域への開設】

令和6年3月に開設（予定）

※開設後の設置数は、16区域・17か所
(週6日型:14か所、週3日型:3か所)



【運営費補助金の見直し】

運営団体に交付する補助金について、積算単価の改定や、利用組数に応じてスタッフを配置できるような人員体制、光熱水費を定額から施設に応じた実費相当額を別途加算する方法に見直します

【発達障害支援特化型センターの運営体制の拡充】

開設日 週3日 ⇒ 週6日

開設時間 10時～15時 ⇒ 10時～16時



利用する子どもの見守りを確保し、しっかりと相談等に対応するスタッフの充実を図ります

給食・副食費物価高騰対策

2億4,663万円

民間保育所等副食費支援補助金

6,628万8千円

市立保育所費 運営費

178万7千円

市立認定こども園費 運営費

45万5千円

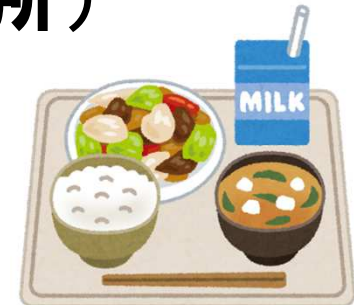
給食食材等調達費

1億7,810万円

学校給食や保育所等の副食(おかず)における食材の価格高騰相当分を市が支援することにより、子育て世帯の経済的負担を支援するとともに、子どもたちに栄養バランスや量を保った給食の提供を維持します



- 【対象】 民間保育所・認定こども園等（計171か所）
市立保育所・認定こども園（計6か所）
市立小中学校（計103か所）



※令和4年度に引き続き、支援を実施

子育て支援

特別支援教育充実費

2億7,109万8千円

(拡大分:1,625万1千円)

市立小・中学校の特別支援教育をより

一層推進するため、**特別支援教育支援員**を130名から**140名に増員**します

～ 支援員の主な役割 ～

- ・ 日常生活の支援、移動介助
- ・ 医療的ケア
- ・ 個別の学習支援
- ・ 障害に関する理解促進

その他の取組み

- ・ 早期支援コーディネーターの配置 (就学時の支援)
- ・ 市教育支援委員会の開催 (適切な学びの場の判断)
- ・ 教員等に対する研修会の実施
- ・ 巡回相談の実施 (専門家による早期対応)
- ・ 小・中学校特別支援教育交流会の実施



不登校対策費

653万6千円(拡大分:293万5千円)

不登校児童生徒の社会的自立に向けた力を育むため、

「**不登校支援サポーター配置**による校内等での居場所づくり」や

「**適応指導教室指導員によるオンライン交流**」等の支援を行います

不登校支援サポーター配置による
校内等での居場所づくり

長崎市適応指導教室 (市民会館) から離れた場所にある小・中学校8校に不登校支援サポーターを配置

適応指導教室指導員による
オンライン交流等の支援

指導員を1名増員し、通級困難な児童生徒に対し家庭訪問やオンライン交流を実施



スポーツの振興

プロスポーツ応援事業費

1,719万5千円

(うち、拡大分271万円)

子どもたちのスポーツを始めるきっかけづくり
「みる・ささえるスポーツ」の振興

V・ファーレン長崎・長崎ヴェルカ 1,437万7千円

・**市民応援DAY** 1,137万8千円

ホームゲームへの小・中学生と保護者ペアの招待

V・ファーレン長崎 1,600組 3,200名

長崎ヴェルカ 300組 600名→**600組 1,200名**

UP!

・**パブリック・ビューイング** 169万円

アウェイゲームのパブリックビューイングの実施

V・ファーレン長崎、長崎ヴェルカ各2試合

NEW

・PR費(タペストリー、のぼり等の設置) 130万9千円



プロ野球公式戦

281万8千円

・市民招待イベント

長崎市開催のプロ野球公式戦への小・中学生と保護者ペアの招待(2回実施)

合計400組 800名



【単独】平和施設整備事業費 長崎原爆資料館

展示更新基本計画策定委託

400万円

時代の変化

- ・ 来館者は、戦争を遠い時代だと感じる世代が大多数を占めている
- ・ 「被爆者のいる時代」から「被爆者のいない時代」への移行期間にある
- ・ 核兵器をめぐる国際情勢は近年大きく変化している

これからも被爆者の思いを伝え続け、平和な世界を次の時代につなげていくために、被爆80周年記念事業として令和7年度末を目途に展示更新を行う



⇒令和5年度は展示更新にかかる基本計画を策定

安全安心なまちづくり<空き家対策>

空き家に係る固定資産税等の住宅用地特例適用の見直し 1,239万円

事業の概要

- 今後、人の居住の見込みのない「老朽危険空き家」にかかる固定資産税等の住宅用地特例を解除する
- 解除対象となる老朽危険空き家の調査を市内全域で行う

目的・効果

- 適切に空き家を管理している方との税負担公平性の確保
- 空き家所有者へ、空き家の適正管理に関する責任の意識化
- 老朽危険空き家の解体促進による地域住民の安心安全な生活環境の確保

《 老朽危険空き家 》

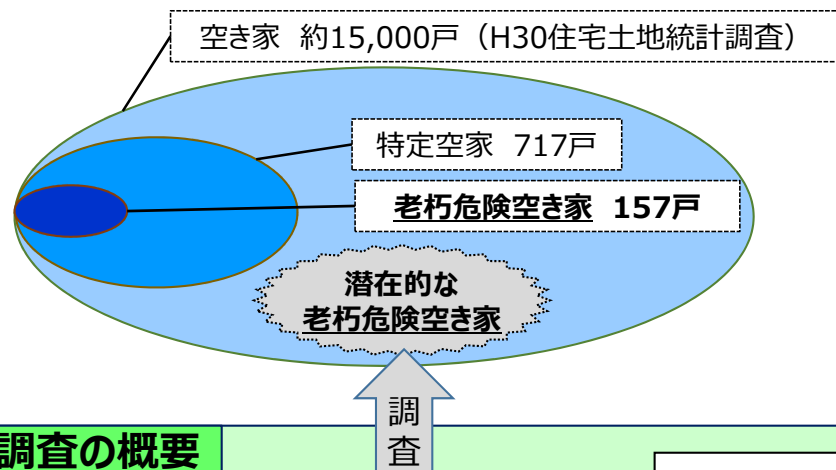


《 住宅用地特例適用の見直し内容 》

家屋の状態	居住中の住宅 管理されている空き家	管理されていない 老朽危険空き家	家屋なし (更地)
見直し前	<p>← 評価額</p> <p>特例措置</p> <p>課税標準 (評価額×1/6)</p>	<p>← 評価額</p> <p>課税標準 (評価額×0.7)</p>	<p>評価額</p> <p>課税標準 (評価額×0.7)</p>
見直し後	<p>← 評価額</p> <p>特例措置</p> <p>課税標準 (評価額×1/6)</p> <p>増額</p>	<p>← 評価額</p> <p>課税標準 (評価額×0.7)</p> <p>減免 老朽危険空き家の早期解体で増額分を3年間減免</p>	

(●固定資産税 = 課税標準×1.4% ●都市計画税 = 課税標準×0.3%)

《 長崎市の空き家の状況 (R4.3.31現在) 》



調査の概要

- 現地調査にて、老朽危険空き家の不良度を測定する

R5年度
予算額1,239万円

- チェックリスト
- 床
 - 基礎・土台
 - 外壁
 - 屋根

安全安心なまちづくり

【補助】都市構造再編事業費 浦上駅周辺地区

公衆トイレ整備工事費

3,800万円

市民や来訪者が安全、安心、快適に過ごすため、浦上駅前広場内に公衆トイレを整備します

【事業箇所】 浦上駅前広場

【事業内容】 公衆トイレ整備

男子:小2、大1 女子:大2

バリアフリー・だれでもトイレ

各1箇所(予定)

【供用開始】 令和5年度末頃(予定)



浦上駅周辺状況



公衆トイレ設置イメージ (案)

盛土等災害防止調査費

6,000万円

昭和41年：長崎市では、宅地造成等規制法（許可制）に基づく規制区域を指定し、宅地の安全性を一定確保してきた

令和3年：静岡県熱海市で土石流災害が発生、国は令和4年に宅地造成等規制法を抜本的に改正し、スキマなく規制



死者・行方不明者28名
住宅被害98棟

盛土等による災害から市民の生命・身体を守るため、リスクのあるエリアは広く規制区域に指定等するための調査に取り組みます

【特定盛土等規制区域】

・溪流の上流域など、人家等に土砂の流出が想定される区域

【宅地造成等工事規制区域】

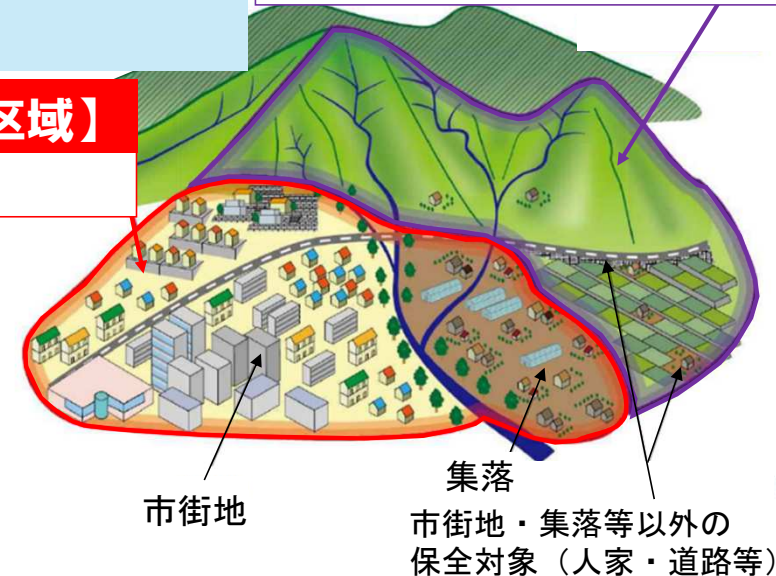
・市街地・集落等

【事業期間】 令和5年度

【調査対象】 市内全域

【事業内容】

- ・市街地や集落など、人家等に危害を及ぼしうる区域（規制区域）の抽出
- ・規制区域内にある既存盛土等の抽出

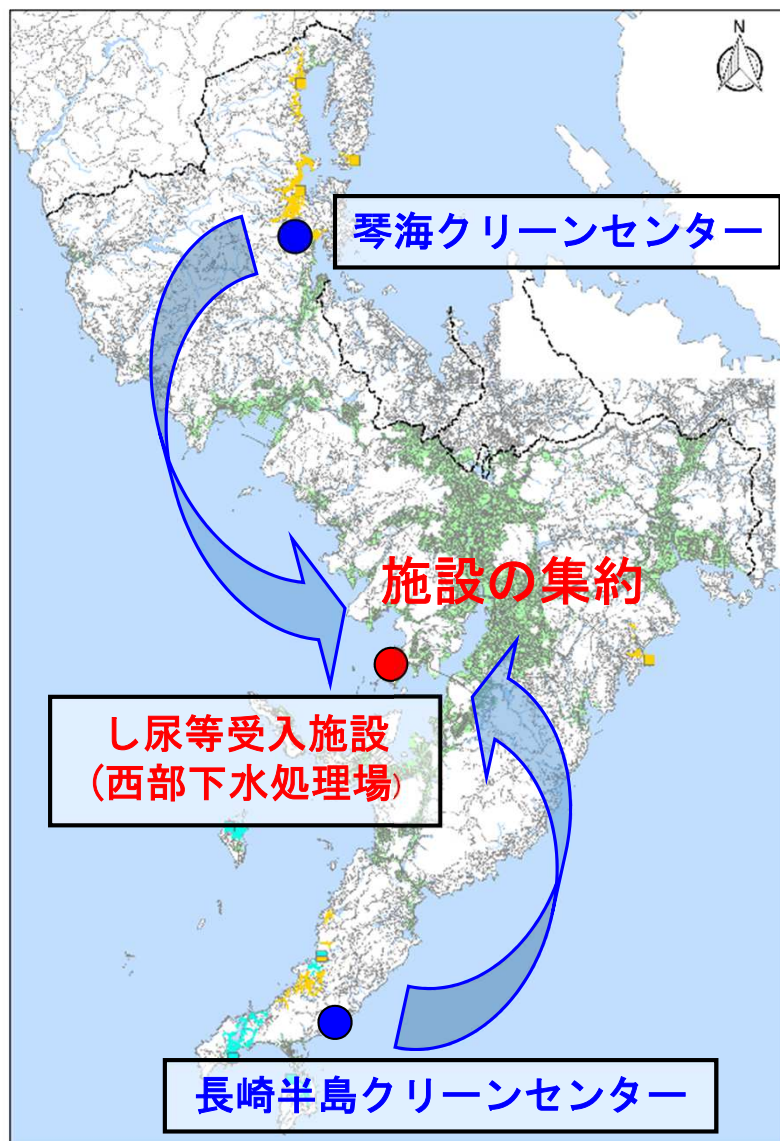


施設の集約による効率化

し尿等受入施設建設事業

2,600万円

- ・し尿等受入施設基本設計委託（1/2国庫補助金、1/2市負担金）



「西部下水処理場」に
「し尿等受入施設」を建設します

し尿処理施設で処理しているし尿及び浄化槽汚泥を下水処理場で処理することで、約30億円の削減効果が期待できる

建設スケジュール（予定）

	R5	R6	R7	R8	R9
基本設計	➡				
詳細設計		➡			
建設工事			➡		